シンプル データコレクタ
取扱説明書

開発暫定版

2001年 10月 10日
テクノベインズ有限会社
目次

- はじめに
- 仕様
- 最大登録件数
- 対応機種
- 側
- (パソコン) 側通信ソフト
- インストール方法
- パソコン 側通信プログラム
- の起動
- の終了
- の機能
- パラメータの設定説明
- 側プログラムの実行
- アプリケーションから見たシンプルデータコレクタ
- 起動及び終了方法
- 起動方法
- 終了方法
- 読み込みデータの削除方法
- デモ版での起動画面
- デモ版最初の起動
- ユーザー登録画面
- マスタの初期読み込み
- マスタの更新
- 基本的な操作方法
- 基本的な流れ
- 基本的な流れの流れ
- 基本的な流れ
- 入力枠の状態説明
- 数値入力中
- 数値増減中
- レコード選択状態
- 備考
- シンプルデータコレクタ製作詳細説明
- メイン画面ボタン説明
- メニューコマンド
- 機能メニュー
- コード登録メニュー
1 はじめに

このたびは、シンプル データ コレクタ をご購入いただきましてまことにありがとうございます。

シンプル データ コレクタは、Palm OS で使用できる業務用プログラムです。従来のハンディターミナルと比べ、低価格で高機能、高性能な デバイス をハードウェアデバイスとして使用しました。

どなたにも気軽に操作が発注などのコード入力を簡単に行えていただけるソフトウェアです。

どなたでも簡単にご使用いただけますよう、数多くの工夫が行われています。

皆様の業務にぜひご活用いただけますと幸いです。
2 仕様

2.1 最大登録件数

下記最大件数は、プログラム設計上の最大容量です。お使いの deserted のメモリ残量やリソース残量により、最大件数まではご使用できない場合がございます。

マスタデータ 最大登録件数  □万件
商品入力 最大登録件数  □万件

□マスタデータは必須ではありません。

2.2 対応機種・OS

2.2.1 Palm 側

□□□□□□□□の下記の機器で確認を行っております。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□Ⅵ
3 インストール方法

シンプルデータコレクタをご使用いただく為には、DSP及びIC双方にプログラムをインストールする必要があります。
また、シンプルデータコレクタのインストールには Palm Desktopを使用します。

DSPに転送用プログラムPalm Desktopをインストールします。
DSPはシリアルポートを制御し、ICと通信を行います。

IC側にはPalm Desktopというプログラムをインストールします。
ICのインストールにはPalm Desktopを使用してインストールしてください。
ICとDSPでのプログラムインストールはPalm Desktopの説明書をご覧ください。
4 パソコン側通信プログラム TVComm

パソコン側にインストールし、データの通信を行うプログラムです。独自の通信手順にてシリアルインターフェースを使用して通信を行います。

注意:

同一シリアルポートを使用して通信を行いますので、同一ポートの通信との同時使用はできません。
インストール終了後にパソコン側通信は終了してください。

4.1 TVComm の起動

起動から、インストールしたDBを実行します。
起動直後は画面下のツールバーに入ります。
ツールバーをクリックするとダイアログ画面が表示されます。

転送中は、ダイアログ中央の赤が赤になりますので転送を確認できます。

4.2 TVComm の終了

DBを終了する場合、ダイアログの終了ボタンまたは右上の閉じるボタンで終了します。
ダイアログは、タスクバーボタンまたは最小化ボタンで再びツールバーに入ります。
通信終了後、DBを自動的に終了することもできます。設定方法はDBの説明をご覧ください。
4.3 TVComm の機能

- 側プログラムと 以下のデータの通信を行います。
- 側データの受信
- 側へマスタファイルの送信

を起動すると、ホストとして待機をし、ファイルで指定されたポートを
監視し、からの通信を待ちます。

通信は、側の通信ボタンにより開始されます。シンプル データ コレクタ実
行中は、クレードルのボタンでも通信開始できます。シンプル データコ
レクタが実行されていないときにボタンを押すと、通常のホットシンクが開
始されます。

マスタファイルを指定フォルダに入れておくと、通信時の最後にマスタの転送を
行います。マスタの更新は、通信時に自動的に行われます。内部に記録され
ているマスタデータと、ファイルで指定されたマスタファイルのサイズや生成日
時が同じ場合やマスタファイルが指定されていない場合、マスタ転送は行われま
せん。

注意:
データ受信端末として、複数台のパソコンをランダムに使用される場合、各パソコン
に配置するマスタファイルは同じ物をコピーしてご使用ください。パソコンごと
に生成日時が異なりますと、異なるパソコンへ接続するたびにマスタ転送が発生し
ます。

フロッピーなどメディア間でコピーした場合、生成日時もコピーされますが、各パ
ソコン個別にインターネットなどでダウンロードした場合、ダウンロードした日時が
そのファイルの生成日時になります。その場合、そのダウンロードしたファイルを他
のパソコンへコピーすることで生成日時もコピーされます。

備考:
と異なり、はデータ通信専用です。専用プロトコルにて
接続を行いますので、パソコンウィルス等を内部へ送り込む心配はありません。
4.4 TVComm.ini

テレビにインストールされたフォルダに TVComm.ini というファイルがあります。

これらのファイルにより、マスタファイルや受信するファイル名、その名称生成方法などを指定できます。TVComm.ini は起動時に参照されます。ファイルの修正は ファイルを終了してから行ってください。

4.4.1 パラメータの設定説明

Port=COM1
シリアルポート番号の指定

SerialPath=master/パス
マスターの入っているバス
(ファイル名をのぞいた)を指定

SendFILE=TVC1S.csv
送信するマスタファイル名

DataPATH=.
データパス

RcvNAME=TV
受信するファイル名

RcvFMT=DDHHNN
 Parser

RcvEXT=TEXT
拡張子

RcvAPPEND=FALSE
追加

RcvOVWRITE=FALSE
上書き

以下の情報から受信ファイル名を生成します。 master/パス/フォルダ名/ファイル名

ヘッダー部分

更新数値部分 (下記参照)

日付型、カウンター型が使用できます。

部分

追加登録されます。

の場合、指定されたファイル名が存在する場合、上書きされます。 空の場合は、ファイル名がつけられません。

部分は から順番にインクリメントされます。
データベースには以下の書式が指定できます。

- カレンダークロック
- ファイル生成時の内部のカレンダークロックが使用されます。

RcvNAME=TV
RcvFMT=DDHHNN
RcvEXT=.TXT

例

データ処理後、受信処理側がファイルを削除してください。

在ストのインストールされたLonet(実行 loneliness)の中に、実行形式のファイル
( loneliness) をおき、ボタンの2 セクションの中で loneliness を定義すると、データ
受信後に指定した実行ファイルが起動されます。
5 Palm 側プログラムの実行

5.1 Palm アプリケーションから見たシンプル データ コレクタ

いくつかの点でシンプル データ コレクタは 他の アプリケーションと異なります。業務用として、初めてお使いになる方から、熟練された方まで、すばやく・間違いなく・迷わずお使いいただけるように、あえて通常の操作方法と異なった使いかたをしています。

以下にその主な相違点をあげます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>標準的な データ アプリケーション</th>
<th>シンプル データ コレクタ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ハードウェアキーを押した場合の機能</td>
<td>実行中のアプリケーションを中断し、他のアプリケーションを起動する</td>
</tr>
<tr>
<td>デジタイザ部</td>
<td>⌁により手書き入力</td>
</tr>
<tr>
<td>入力確定方法</td>
<td>入力しただけで確定</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的な入力方法</td>
<td>⌁により特殊手書き記号認識</td>
</tr>
<tr>
<td>プログラムの終了</td>
<td>なし (他のアプリを起動)</td>
</tr>
<tr>
<td>との通信</td>
<td>⌁による通信</td>
</tr>
<tr>
<td>との通信</td>
<td>アプリケーションを中断し、実行</td>
</tr>
<tr>
<td>コード登録中はボタン無視、メイン画面ではデータ転送実行</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
5.2 起動及び終了方法

5.2.1 起動方法

シンプル データ コレクタは まったく あっという間というアイコンで表示されています。このアイコンをタップすることで起動します。

5.2.2 終了方法

メイン画面表示中に、デジタイザ部分のアイコンのホームキーを押すことで、メニューへ戻ります。登録入力作業中にはアプリケーションを中断できません。

5.2.3 読み込みデータの削除方法

データを 送信し、次の入力を行う際に確認ダイアログが表示され、送信済みデータの削除を行います。データ削除を行わないと次の登録は行えません。

データ削除を行うまでは、メイン画面から何回でも再送信することが可能です。

メニュー操作を行うことで、送信済みフラグを解除し、送信済みデータに追加登録することも、強制的に登録データの全削除を行うことができます。

また、通信終了時にマスタ更新が行われます。
5.3 デモ版での起動画面

5.3.1 デモ版最初の起動

デモ版は出荷時期により、使用期限が設定されていま
す。

![デモ版起動画面](image1.jpg)

5.3.2 ユーザー登録画面

登録開始を押すと、ユーザー未登録の場合、登録画面が表示されます。

デモ版では正式には、ユーザー登録画面は登録で
きません。登録ボタンを押して仮登録でキャンせ
ルしてください。最初の 2 回のみ表示されます。

![ユーザー登録画面](image2.jpg)
5.4 マスタの初期読み込み

商品コード名称マスタを読み込みます。
パソコン側のマスタを起動してください。

起動すると画面下のツールバーに、メッセージが表示されます。
通常はダイアログ画面は表示されません。
（通信ポートの初期設定が終わってない場合、マスタの説明を参照して初期値の設定を行ってください。）

起動後、シリアルケーブルまたはシリアルケーブルに接続します。シールドード データ コレクタのメイン画面で、「送信」ボタンまたはケーブルのボタンを押すと通信が始まります。（シールドード データ コレクタ実行中は、ケーブルのボタンを押しても、マスタの位置の関係で行われません。）

通信ステータスが画面下の枠に表示されます。
正常に通信が完了すると「通信完了」が表示されます。

5.5 マスタの更新

マスタ側指定フォルダに入っているマスタマスタの日時とファイル容量を送信後にチェックします。それらが異なっている場合、自動的にマスタを更新します。マスタ側のマスタを削除しても、その場合、マスタ側の削除は行いません。（マスタ側のメニューでマスタ削除します。）
6 基本的な操作方法
6.1 基本的な流れ

6.1.1 基本的な登録方法の流れ

![流程図](image-url)
6.1.2 基本的な登録方法

登録画面の登録区分・商品コード・数量の順に入力を行います。

入力される枠は太線、反転などで示されます。

最初に登録区分コードを入力します。
登録区分コードは棚番号や操作番号などとして自由にご使用できます。

登録区分コードは桁までの数字が使用できます。
登録区分コードを入力したら最後に登録ボタンを押します。

商品コードを入力します。
商品コードは以下の方法で入力できます。
・ バーコードをスキャンする。
・ タッチパネルのテンキーボタンから入力し、登録ボタンを押す。
・ マスター覧から選択する。

数量を入力します。
バーコードが使用できる場合で、登録数量が桁の場合は、次のバーコードを入力することで、数量として登録され、連続して登録ができます。

数量は以下の方法で入力できます。入力後に登録キーを押します。
・ 上 ▲ 下 ▼ キー、上下キーの両サイドのキー( 、 )
・ タッチパネルのテンキーボタンからの入力
・ - ボタンを押すことに + - が切り替わります。

以降は ●、 ● の繰り返しになります。
数量が確定している状態で終了ボタンを押すとメインメニューへ戻ります。

下部のハードウェアスイッチは入力状態により機能が変化します。
多くの場合、画面の機能ボタンと同じ並びで配置されています。
6.2 入力枠の状態説明
入力枠の表示により、入力状態を知ることができます。

6.2.1 数値入力中
入力途中（未確定）の項目枠は太線で示されます。
正しく入力を行った後、登録ボタンで入力を確定します。確定していないと、クリアボタンを押すと入力
された内容がクリアされます。

6.2.2 数値増減中
上下キーなどで数値を増減している間は、入力部
分の画面が反転します。この状態のとき、テンキーか
ら新たに数値を入力すると、増減により入力中の値
はクリアされ、テンキーから入力された数値が優先さ
れます。

6.2.3 レコード確定状態
商品コード、数量が確定するとレコードの登録が
完了します。レコードが確定すると、入力枠が点線表
示に変わります。この状態で1つのレコードの登録が
完了します。この状態のときテンキーから数値入力を
行うと商品コードへの数値入力モードになります。
また、バーコードからの入力も受け付けます。

6.2.4 備考
全入力確定が行われていない状態で、クリアボタンで数量を取り消せます。また、数
量を取り消した状態でクリアボタンを押すことで入力途中の商品コードをクリアで
きます。その場合、入力途中の商品コードは記録されません。
7 シンプルデータコレクタ操作詳細説明

7.1 メイン画面ボタン説明

メイン画面では以下のボタンがあります。

<table>
<thead>
<tr>
<th>ボタン名</th>
<th>機能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>登録</td>
<td>コード登録を行います。コード登録画面へ切り替えられます。</td>
</tr>
<tr>
<td>送信</td>
<td>入力されたデータを送信します。送信後、マスタの受信を行います。誤って、送信を押してしまった場合、キーをしばらく押すことで、通信を中断できます。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

また、メイン画面表示中はデジタイザ部のアイコン表示されたキーによりいくつかの機能があります。

<table>
<thead>
<tr>
<th>キー名</th>
<th>機能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ホーム</td>
<td>シンプルデータコレクタを終了し、通常のメニューのメニューエ戻ります。ハードウェアキーでの他のアプリケーション起動は禁止されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>メニュー</td>
<td>メニューを表示します。シンプルデータコレクタ実行中は、メインメニューのタイトル部分をタップしてもメニューが表示されません。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

メニューの表示は、再度メニューキーを押すことでメニュー表示を消すことができます。
7.2 メニューコマンド

メイン画面表示中はメニューが使用できます。メニューは以下の項目が実行できます。

7.2.1 機能メニュー

- 初期設定（デモ版は正しく動作しませんので選択しないでください）
- バーコード設定 設定画面（参照）を表示します。
- ライセンス登録

7.2.2 コード登録メニュー

- 送信済解除
  一旦送信を行うと、次のコード登録開始時に、送信済みデータの削除を求めるメッセージダイアログが表示されます。このメニューを実行すると、強制的に送信済みフラグを未送信の状態にして追加登録を可能にします。送信済みデータがそのまま残りますので、次回送信時には、既に送信済みのデータを再び送信されます。
- 登録全削除
  登録されたデータを全て削除します。登録やり直しの際などで使用します。（この操作では、マスタデータは削除されません。）

7.2.3 マスタメニュー

- 商品マスタ削除
  登録済みのマスタデータを削除します。登録済みデータは削除されません。

7.2.4 Aboutメニュー

- タイトルが書かれたダイアログの表示を行います。
7.3 コード登録画面

コード登録画面の一部のボタンは 入力の状態により機能が変更されます。

通常入力時

数量入力時

既入力の訂正時

数量入力時 マスター覧表示ボタン □マイナス値入力ボタン
既入力の訂正時 マスターボタン □マイナスボタン
履歴ボタン □取消ボタン

ボタン名 | 機能
--- | ---
□〜 □ | 数字入力ボタン
クリア | 入力中の文字列をクリアします。
 | 数量入力中、クリアした状態でクリアを押すと その商品コードへの登録を中止します。
 | 商品コードがクリアした状態でクリアを押すと、コード登録を終了します。
登録 | 入力を確定します。
終了 | 数量確定後、このボタンでコード登録を終了しメインメニューへ戻ります。
マスタ | マスター覧表示を行います。
履歴 | 過去に入力された履歴一覧を入力順で表示します。登録区分が未設定の状態の場合は、全ての入力の履歴一覧を表示し、登録区分が入力済みの場合、その登録区分の入力済み履歴一覧を表示します。
- | 数値のマイナス登録を行います。押すごとに □が切り替わるトグル動作です。
取消 | データベースから削除します。履歴一覧の修正画面で使用できます。
7.4 商品コードが見つからない場合

商品マスタが読み込まれていない場合や、該当商品コードが登録されていない場合、コード登録画面の商品名欄に「未登録：商品コード」が表示されます。

履歴一覧では商品マスタ未登録コードの場合、商品名の位置に「？？商品コード」が表示されます。
7.5 マスタービュー表示

商品マスタが読み込まれている場合、商品マスタービューを表示できます。

表示だけでなく、商品マスタービューから商品を選択して、商品の登録ができます。
（商品マスタ読み込みは必須ではありません。）

<table>
<thead>
<tr>
<th>ボタン名</th>
<th>機能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>戻る</td>
<td>マスタービュー画面を終了してコード登録画面へとします。</td>
</tr>
<tr>
<td>前頁</td>
<td>マスタービュー画面に入りきらない場合、前画面分前（商品コードの小さい）の商品一覧を表示します。</td>
</tr>
<tr>
<td>次頁</td>
<td>マスタービュー画面に入りきらない場合、次画面分次（商品コードの大きい）の商品一覧を表示します。</td>
</tr>
<tr>
<td>選択</td>
<td>反転表示されている商品を選択して、コード登録画面へとします。</td>
</tr>
<tr>
<td>▲ ▼</td>
<td>選択（反転）位置をつつ変更します。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

画面に表示された商品を直接タップすると、その商品が選択状態となります。
登録する場合、選択ボタンを押します。

右側のスクロールバーにより、表示画面をスクロールすることができます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>商品コード</th>
<th>商品名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0023</td>
<td>レモン</td>
</tr>
<tr>
<td>0024</td>
<td>オレンジ</td>
</tr>
<tr>
<td>0025</td>
<td>柚子</td>
</tr>
<tr>
<td>0027</td>
<td>ライチ</td>
</tr>
<tr>
<td>0028</td>
<td>さくらんぼ</td>
</tr>
<tr>
<td>0029</td>
<td>ババヤ</td>
</tr>
<tr>
<td>0030</td>
<td>マンゴ</td>
</tr>
<tr>
<td>0031</td>
<td>スナギ</td>
</tr>
<tr>
<td>0032</td>
<td>レモネード</td>
</tr>
</tbody>
</table>
7.6 履歴一覧表示

送信されていない登録データの一覧を表示します。

履歴一覧表示は、通りあり、登録区分入力待ち（登録区分が未入力の状態）は全てのデータ履歴が表示されます。

登録区分が入力されている状態では、その登録区分における一覧が表示されます。

表示だけでなく、履歴一覧から登録データを選択して、数値の変更及びレコード削除が行えます。履歴は入力した順に表示されます。

画面表示時は最後の入力商品レコード位置が選択されていますので、最後の入力を取り消す場合、訂正で取消しと最後の入力レコードを削除することができます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>ボタン名</th>
<th>機能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>戻る</td>
<td>マスター画面を終了してコード登録画面へもどります。</td>
</tr>
<tr>
<td>前頁</td>
<td>マスタが「画面に入りきらない場合、画面分前（商品コードの小さい）の商品一覧を表示します。</td>
</tr>
<tr>
<td>次頁</td>
<td>マスタが「画面に入りきらない場合、画面分次（商品コードの大きい）の商品一覧を表示します。</td>
</tr>
<tr>
<td>訂正</td>
<td>反転表示されている商品を選択して、コード登録画面へもどります。 訂正モードでコード登録画面へ戻った場合、数量訂正が行えます。また、画面の履歴ボタンが取消ボタンとなり、そのレコードの取消が行えます。訂正モードを選択した場合でも、クリアボタンを「回押し」し、商品コードを取り消すことで訂正を取りやめることができます。</td>
</tr>
<tr>
<td>▼ ▼</td>
<td>選択（反転）位置を ▼つ変更します。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

画面に表示されたを商品を直接タップすると、その商品が選択状態となります。

右側のスクロールバーにより、表示画面をスクロールすることができます。

商品コードが商品マスタに未登録の場合、商品名欄に「「□未登録コード」が表示されます。
8 バーコードの設定

もしくは 使用している場合、メイン画面でメニュー（参照）にバーコード設定メニューが表示されます。
これにタップするとバーコード設定画面が表示されます。
この画面では使用するバーコードの種類及び機能を設定できます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>表示</th>
<th>チェックした場合の機能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>コードの読み込みを許可します。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コードの読み込みを許可します。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コードの読み込みを許可します。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コードもデータとして取り込みます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>トライアを有効にします。（下記参照）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>スキャナの読み取り速度を広げます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>回（チェック）読取を行います。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

トライアを使用する場合、レーザトライアボタンがあります。
本体下のハードキーでトライアを使用することが期待されます。

トライアを有効にすると、タッチパネル画面の上部に約画面すべてがレーザトライアとして使用できるようになります。本体を左右どちらの手で持っても、その範囲の画面をタッチすることでトライアが可能となります。また、その部分には表示のみを集中させていますので、他の入力操作に影響はありません。トライアはでもご利用いただけます。

トライアはテクノベインズオリジナルの機能です。
画面トップタッチ（テクノベインズ）などから名づけました。
9 ファイル仕様について
ファイルは・形式です。
メモ帳や・などにより作製や、読込、加工ができます。

9.1 マスタファイル仕様
ファイル形式：・
先頭2行は制御文字列であり、データではありません。

第0行目
フィールド1：
フィールド2：
フィールド3： 有効フィールド数
フィールド4：
フィールド5：ヘッダー後のスキップ行数（現フォーマットでは）
フィールド6：登録日付 のテキスト形式
例
フィールド7：登録時刻 のテキスト形式
例
フィールド8：（コメントヘッダー）

第0行目
フィールド1：
フィールド2～：フィールド名 未使用

第0行目以降 データレコード
フィールド1 送信フラグ 未使用 以外 送信
将来的にこのフィールドは更新情報となるため、送信する場合は1を指定。
もし、このフィールドが0のデータが送られる場合、受信側はレコードを廃棄する
フィールド2：分類コード 未使用
フィールド3：商品コード 最大 桁
フィールド4：商品名 最大 バイト
フィールド5：数量 未使用
フィールド6：登録日付 のテキスト形式 例
フィールド7：登録時刻 のテキスト形式 例
フィールド8：コメント
9.2 マスタファイル例

ヘッダー 1
ヘッダー 2
9.3 出力ファイル仕様

ファイル形式：

データレコード仕様
フィールド1：端末 ID
フィールド2：テーブル番号
フィールド3：注文コード
フィールド4：注文数
フィールド5：登録日時 フォーマット 月日時分

9.4 出力ファイル例